

# 日本刀歌

欧陽脩

中国名詩選(下)二六九頁

1 昆夷道遠不復通

こんい とお ま  
昆夷道遠くして復た通ぜず

2 世傳切玉誰能窮

せつぎよく  
世に切玉を伝うるも誰か能く窮めん

3 寶刀近出日本國

宝刀近ごろ日本国より出で

4 越賈得之滄海東

えつこ  
越賈之を得たり滄海の東

5 魚皮裝貼香木鞘

ぎよひ そうちよう こうぼく さや  
魚皮もて装貼す香木の鞘

6 黃白閒雜鋤與銅

こうはく かんざつ ちゅう  
黃白閒雜す鋤と銅と

7 百金傳入好事手

百金もて伝え入る好事の手

8 佩服可以禳妖凶

はいふく ようぎよう ほう  
佩服すれば以て妖凶を禳う可し

9 傳聞其國居大島

伝え聞く其の国は大島に居り

10 土壤沃饒風俗好

よくじよう  
土壤沃饒にして風俗好し

11 其先除福詐秦民

せん じよふく いっわ  
其の先除福は秦民を詐り

12 採藥淹留卬童老

くすり と えんりゆう かんどう お  
藥を採りて淹留し卬童老ゆ

13 百工五種與之居

ひやくこう ごしゅ これ お  
百工五種之と居り

14 至今器玩皆精巧

今に至るまで器玩皆な精巧  
きがん み せいこう

15 前朝貢獻屢往來

前朝には貢獻して屢しば往來す  
しげ おうらい

16 士人往往工詞藻

士人は往々にして詞藻に工なり  
しじん おうおう しそう たくみ

17 徐福行時書未焚

徐福の行きし時書未だ焚かれず  
じよふく しよいま や

18 逸書百篇今尚存

逸書百篇今尚お存す  
いつしよひやくへん いまな

19 令嚴不許傳中國

令嚴しく中国に伝うるを許さず  
れいきび

20 舉世無人識古文

世を挙げて人の古文を識る無し  
あ し

21 先王大典藏夷貊

先王の大典夷貊に蔵され  
せんおう だいてん いばく ぞう

22 蒼波浩蕩無通津

蒼波浩蕩して通津無し  
そうはこうとう つうしん

23 令人感激坐流涕

人をして感激し坐りて涕を流さしむ  
よ なみだ

24 鏞澀短刀何足云

鏞澀の短刀何ぞ云うに足らん  
しゆうじゆう い